

十トテ立法ノ精神ヲ攻撃シ、第一、道徳的見地ヨリ  
 思想ノ向上ヲ力ニテ壓迫セントスラ不人道的ナリトシ  
 男婦ノ自覚ノ向上ヲ解放セヨト、第二、法理的見地  
 ヲリドイツノ社會主義黨ノ憲法改正ノ一途ヲ飛ビ憲法  
 思想取締ノ不可能トシテ力説シ思想發表ノ自由ヲ  
 此レハ騒動ナシ方局リ、運河ヲ築カズ堰ヲ築クヲ  
 愚クナサントストテ笑ヒ、第三、立法的見地ニテ  
 法ヲ侵害トスル基礎事業ノ薄弱ナルト現政府ニ般  
 民衆ニ對スル同情心ナキヲ攻撃シ、（此際際際問アリ  
 ト叫ブ者アリ騒動一）且ツ方局ノ議會ニ於テん各年  
 ノ明瞭ナラズハ畢竟法案ノ根據暗昧ナルコトアリ  
 恠ニ狼狽ヲ被ケ人ヲ陷ルモノナリト第四ニ行政政策

的見地ヨリ國家ノ目的ニツキ、保守ニ苦心スル所代ハ  
 既ニ過去ニテ今ヤ如何ニ改革スルカ、創造進化  
 が真理自覚問題ニ本法案ハ余ク此ノ注意ヲ  
 忘却シタリト叫ビ、最後ニ日本ノ世界的立場ヲ考  
 フルニ本法案ノ保守的且ツ特殊的政治ヲ以テ言  
 論ヲ抑壓セシカ日本ノ進化ハ見ルニ由ナク、故ニ世界  
 進歩ノ歩調ニ後シ日本ノ立場ヲ失フニ至ラント  
 （博士降壇セントスル也、先刻ノ質問アリト叫ビる者  
 角ビ「質問アリト叫ブ騒然タリ、遂ニ竹外ニ列キ  
 出サレ、對答ニ拘ルニ至ルニ至ニ許サレタル也）

本代議士此井柳本部長